

招 集 期 日	平成 3 0 年 9 月 2 6 日 (水)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 3 0 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春山教子教育長職務代理者	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	須永教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	水野スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		9 月定例教育委員会を開会		
日程第1 前回会議録の承認	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する事件等で出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した場合は、非公開とすることができる。本日の日程のなかで非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
	教育長	8 月定例教育委員会の会議録について諮った		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 から 8 について学校教育課長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>4月17日に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した調査である。教科は国語、算数、数学、理科とし、A問題は知識・技能を中心とした問題、B問題は応用・活用問題である。全体の結果は、小学校、中学校共に全国平均正答率を上回った教科はなかった。</p> <p>小学校については、国語、算数のA問題が全国平均との差が大きい。学習指導要領の領域等での区分をみると国語A、国語B共に「話すこと・聞くこと」が全国平均との差が大きく、算数Aでは「数と計算」、算数Bでは「図形」が全校平均との差が大きい。理科は「生命」が全国平均との差が大きい。</p> <p>中学校については、国語Bと数学Aが全国平均との差が大きい。理科については全国平均をやや下回っている。学習指導要領の領域等での区分をみると国語Aにおいて「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「読むこと」が全国平均との差が大きく、数学Aでは「数と式」「関数」、数学Bでは「図形」が全校平均との差が大きい。理科は「地学的領域」が全校平均との差が大きい。</p>
<p>報告事項2 平成30年度埼玉県学力・学習状況調査結果の概要について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>4月12日に小学校4年生から中学校3年生を対象に実施した調査である。教科は、小学校4年生から中学校1年生までは国語と算数・数学、中学校2年生と3年生は国語と数学、英語である。埼玉県学力学習状況調査は、その子どもの学力がどのくらい伸びたかを追跡することができるという特徴がある。教科区分による結果では、全ての学年において県平均正答率を上回った教科はなかった。小学校については、4年生と5年生では国語、6年生は算数が県平均正答率との差が大きい。中学校については、1年生は国語、2年生は英語、3年生は数学が県平均正答率との差が大きい。</p> <p>分類・区分別による結果の概要は、小学校4年生では、国語の「話す・聞く能力」が県平均より2.4%上回っている。算数は「量と測定」「数量や図形についての技能」が県平均と同程度となっている。小学校5年生では、国語の「話すこと・聞くこと・書くこと」が県平均より0.4%上回っている。評価の観点の「話す・聞</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項3 小・中学校における1 学期の表彰の結果に ついて</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>く能力」が5%県平均より上回っている。算数は「数量関係」が県平均より上回り、「数量や図形についての技能」が県平均と同程度となっている。評価の観点の「数学的な考え方」については県平均を5.7%下回り、この項目を苦手としていることが分かる。小学校6年生では、国語の「書く能力」が県平均より5.9%下回っており、算数の「量と測定」が県平均と同程度、「図形」が県平均を5.1%下回っている。中学校1年生では、国語の「書く能力」が6.3%、算数の「数量関係」が5.0%、それぞれ県平均を下回っている。中学校2年生では、国語の「読むこと」が5.2%、「読む能力」が5.0%、それぞれ県平均を下回っている。英語では、「書くこと」5.4%、「外国語表現の能力」は5.5%、「言語や文化についての知識・理解」が5.3%、それぞれ県平均を下回っている。中学校3年生では、数学の「資料の活用」は県平均より1.2%上回っているが、国語の「書く能力」が5.1%、数学の「数と式」が7.2%、「関数」が5.7%、「数学的な見方や考え方」が7.1%、それぞれ県平均を下回っている。</p> <p>同集団における羽生市の学力の伸びに着目すると、小学校5年生の算数では県平均で2伸びているところを3、中学校2年生の数学では県平均で1伸びているところを2伸びている。中学校3年生の数学では県平均で2伸びているところを3、英語は県平均で4伸びているところを5伸びている。今後は各校が重点取組計画書を作成し、課題の克服に取り組むことになっている。また、羽生市教育委員会による学力向上に特化した学校訪問を行っており、双方連携して学力向上を図っていききたいと考えている。</p> <p>1学期の特に上位の表彰について報告する。羽生北小学校の2年生の児童が、第57回埼玉県硬筆中央展覧会で埼玉県知事賞を受賞した。西中学校サッカー部が、北埼玉地区中学校夏季総合体育大会で第1位となり、さらに県大会ではベスト8まで勝ち進んだ。南中学校の2年生の生徒が、北埼玉地区中学校夏季総合体育大会陸上競技の女子800Mと1500Mで第1位になり、惜しくも予選敗退であったが、全日本中学陸上競技選手権大会に出場した。東中学校野球部が、北埼玉地区中学校夏季総合体育大会野球で第1位、埼玉県中学校夏季</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 1学期における交通事故以外の事故・いじめ・不登校等について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>総合体育大会で第2位となり、さらに関東中学校軟式野球大会でベスト8まで勝ち進んだ。</p> <p>交通事故以外の事故は3件発生した。そのうち学校管理外で1件、学校管理下で2件、昨年度と比べてマイナス6件となった。各事故共迅速な対応ができた。木曜日に2件発生しており、木曜日に事故が多いことについては校長研究協議会でも注意喚起をした。不登校児童生徒数は32名、いじめの件数は9件あり、これらは学期ごとに、埼玉県教育局の生徒指導課に件数を報告している。不登校やいじめは全国的な課題であるが、適正に対応し、安心安全な学校、信頼できる学校づくりを進めていきたい。</p>
<p>報告事項5 平成30年度市内で発生した小中学生に関わる交通事故（8月末現在）について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>今年度は4件発生し、そのうち3件は児童生徒の飛び出しであった。昨年度に比べて2件増えている。主な要因として飛び出しが多いこと、発生時刻は午後が多いことについて校長研究協議会で注意喚起をした。引き続き、各学校で交通安全指導を行うよう、教育委員会からも指導していきたい。</p>
<p>報告事項6 平成30年度羽生地区青少年健全育成地域フォーラムの開催について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>青少年の非行問題や不登校の問題などが、いまだに後を絶たない現状であり、早急な解決のための具体的な行動や取組が必要である。その一環として、10月26日に羽生市産業文化ホールにて開催する。内容は、児童・生徒の実践発表のほか、現在の携帯・スマートフォン・インターネット事情の第一人者であり全国で講話をされている目代純平氏による講演を予定している。</p>
<p>報告事項7 平成30年度羽生市人権教育研究集会の開催について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>羽生市立小・中学校教職員及びPTA役員が、人権教育の実践に関し研究協議し合うことにより人権教育の推進を図ることを目的に、11月20日に羽生南小学校にて開催する。四つの分科会に分かれ研究テーマに沿った研究協議を行う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項8 平成30年度羽生市中学生海外派遣の結果について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>8月17日から8月22日まで5泊6日間において、各中学校から4名、合計12名の派遣団員と、派遣団顧問の佐藤学校教育部長をはじめ4名の引率者が、姉妹都市のフィリピンのバギオ市へ行ってきた。1日目は、諸事情によりマニラ空港が閉鎖になり羽田発マニラ行の飛行機が欠航となったため、羽田から成田へ移動し成田のホテルで1泊した。次の日、成田空港を出発し23時にホストファミリー宅へ到着した。その後は予定通り市内を見学し、セレモニーやパーティーに出席した。22日17時に羽生市役所に到着した。</p> <p>成果としては、羽生市とバギオ市との友好親善を深めることができ、参加者の国際感覚がより醸成された。課題としては、渡航手続きの複雑さ、食事におけるアレルギーの問題、生活習慣上の違い、移動時間の長さが挙げられたが、課題よりも成果の方が遥かに大きいと考えている。</p>
<p>報告事項9 給食センター職員による学校訪問について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項9について学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項10 第32回羽生市いきいき運動会(高齢者のつどい)の開催について</p>	<p>給食センター所長</p>	<p>学校給食センター職員が全小中学校を訪問し、児童生徒に対する食育指導授業や会食、学校配膳室の衛生管理指導等を行い、安心・安全でおいしい給食を提供するための一助とする。実施期間は10月10日から1月25日までの約4ヶ月の期間で訪問を予定している。</p>
	<p>教育長</p>	<p>報告事項10から12について生涯学習課長から説明を求めた。</p>
	<p>生涯学習課長</p>	<p>各公民館の「高齢者大学」に参加している65歳以上の方を対象に毎年開催しているものである。高齢者の心身の健康増進を図り、お互いの交流を深めることを目的として、10月24日に羽生市体育館にて開催する。1チーム30名で、中央公民館から2チーム、他の公民館から1チームずつの計10チームの参加で行う。種目はゲートインボール、スプーンレース等の6種目、高齢者の方に楽</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項11 高校生インストラクター講座「お茶系女子のOMOTENASHI茶道教室」の開催について</p>	生涯学習課長	<p>しんでもらうことが目的の為、順位づけはなしとする。</p> <p>地域の高校生が学生生活や部活動で培ったスキルを講師となって地域に還元することで、地域社会の活性化、高校生自らの地域社会への積極的な参画意識の醸成を図るものである。今年度の高校生インストラクター講座は、羽生第一高校・羽生実業高校・誠和福祉高校の3校を計画しており、今回は第一弾である。11月3日に羽生第一高等学校特別棟作法室にて、同校の茶道部生徒4名を講師として開催を予定している。実際に茶を点て、菓子を提供するといった一連の作法をとおして、日本の伝統文化である茶道における、おもてなしの心に触れ親しむ内容である。対象者は、市内小中学生で、募集人数10名、参加費は1名分200円とし、市広報10月号に掲載するほか、小中学校を通じて市内の全児童生徒へチラシを配布して周知する。</p>
<p>報告事項12 第11回羽生市郷土芸能発表会の開催について</p>	生涯学習課長	<p>地元の祭礼などで演じられる「郷土芸能」について、日々研さんに努めている演者達に発表の場を提供することで、やりがいを感じてもらい、地域において後継者への伝承を促進させるものである。平成31年2月10日に産業文化ホールにて開催を予定している。出演は、市内で郷土芸能を行う8団体で、出演団体による実行委員会形式での開催となる。内容は、各団体の選りすぐりの演目の披露で、演技時間は1団体20から40分程度を見込む。ポスターとチラシを市内外の関連施設へ配布するほか、市広報や市ホームページで告知、定例記者会見でのマスコミへの情報提供、学校を通し全児童生徒へチラシ配布を行う等で周知を図る。司会を羽生第一高等学校放送部に依頼し、幕間で出演団体を紹介する。</p>
	教育長	<p>報告事項13及び14についてスポーツ振興課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項13 平成30年度トップアスリート育成事業 羽生市剣道教室の開催について	スポーツ振興課長	未来のトップアスリートの育成を図るため羽生市と羽生市教育委員会の主催事業として、羽生市剣道連盟ほか各団体の協力を得て、昨年度に引き続き剣道教室を開催する。12月1日に羽生市体育館にて開催を予定しており、指導者は昨年同様、埼玉県剣道連盟所属の山中茂樹範士八段ほか3名を予定し、市内の小中学生、高校生、各種団体の指導者、保護者を対象とする。竹刀や木刀がなくても気軽に参加できるよう実施する予定である。
報告事項14 平成30年度トップアスリート育成事業 羽生市少年野球教室の結果について	スポーツ振興課長	少年野球教室は2回実施し、第1回目は6月2日、第2回目は9月1日に開催した。第1回目は、元プロ野球選手の黒江透修氏ほか4名の講師を迎え、市内小学生4年生から6年生、指導者、保護者を対象に開催し、参加者は128名であった。第2回目は、全日本軟式野球連盟に依頼し、侍ジャパンU12の日本代表監督の仁志敏久氏を迎えて開催し、参加者は194名であった。第2回目当日は雨が降りグラウンドコンディションが悪かったため、体育館内での開催となった。今年初めての試みのフィールドテストを実施して測定結果を配布し、何を目的としたテストなのか、その結果で何が分かるのか、講師から説明を受けた。また、全国平均値やトップクラスの数値が示されており、自分がどのくらいのレベルなのかを知ることができた。指導者にとっても今後の指導に大変参考になる内容であった。
報告事項15 「聞かせ屋。けいたろう 絵本の読み聞かせ会」の開催について	教育長	報告事項15及び16について図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。
報告事項15 「聞かせ屋。けいたろう 絵本の読み聞かせ会」の開催について	図書館長兼郷土資料館長	絵本の読み聞かせを通して親子の触れ合いや絵本の楽しさを親子で共有し、幼児期の読書の大切さを広く周知することで、読書活動の推進に寄与するほか、この機会に図書館の利用拡大と読み聞かせの技術向上につなげていくことを目的とし、11月18日に羽生市立図書館にて開催を予定している。乳児の部、幼児の部、小学生～大人の部の3回に分け、各回30分ずつの開催とする。講師は、例年どおり坂口慶氏に依頼する。市広報10月号、市ホーム

会議事件名	て ん 末	
報告事項16 企画展 I「アンモナイト」の結果について	図書館長兼郷土資料館長	<p>ページ等にて周知する。</p> <p>埼玉県立自然の博物館の協力を得て、7月14日から8月27日までの39日間、郷土資料館にて開催した。入館者数は4,346名で、1日平均111名となり、例年以上であった。関連企画として、プラスチック粘土をお湯で温め型にはめて化石のフィギアを作るワークショップ「化石のレプレカづくり」講座を実施した。また、展示解説会も実施した。埼玉新聞にも複数回掲載された。今年は動物のはく製ではなくアンモナイトや恐竜の骨格標本等を展示したが、夏休み期間中であることからたくさんのお客さんが来館してくれた。ワークショップでは、応募開始30分で20名の定員に達するほど人気があった。展示内容については、ほとんどの方から「満足している」とのアンケート結果を得ることができた。</p>
	教育長	<p>報告事項について質問・意見を求めた。</p>
	春山委員	<p>中学生の不登校の人数が増えていることについては、更なる取組が必要ではないか。卒業式もできるだけ参加できるような対応を考えていって欲しい。</p>
	学校教育課長	<p>学校だけに任せるのではなく、学校教育課はもちろん、市や県のスクールソーシャルワーカーや子育て支援課、健康づくり推進課等と連携しながら対応し、解決を図っていきたい。</p>
	教育長	<p>今年度は、臨床心理士の増員や訪問回数を倍に増やした取組を行った。これらを生かし、引き続き対応をお願いしたい。</p>
	春山委員	<p>学力・学習調査において、全国及び県と羽生市との差は少なくなってきたと感じるが、5ポイント以上の差がある項目については更に力を入れて取り組むべき課題だと思ふ。児童生徒には義務教育の段階で基礎的な学力をつけて卒業させてあげたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	<p>学力向上に特化した学校訪問を行っているが、各学校の校長からも家庭教育の大切さという言葉が出てきている。家庭を巻き込み学力向上を図る工夫と努力を引き続きしていきたい。</p>
	学校教育部長	<p>小中学校の校長に、中間・期末テスト前はテレビを見ない、ゲームをやらないという取組を中学校区で揃ってできないかをお願いした。家庭学習をするひとつのきっかけになればと考える。</p>
	教育長	<p>学校教育部長、学校教育課長が全ての学校に赴き、各学校の実態に即した指導を行い、学力向上に向けた施策に取り組んでいる。引き続きお願いしたい。</p>
	平野委員	<p>郷土芸能発表会を昨年観させていただき、出演者が皆頑張っていて大変良かった。時間のかかる出し物も見受けられたが、開催時間などの変更などは今回考えているか。</p>
	生涯学習課長	<p>昨年の参加者の中からももう少し時間が欲しいとの意見も出ており、これから実行委員会で協議し、開始時間を30分早めるなどの検討をしていきたいと考えている。</p>
	平野委員	<p>終了の時間は決まっているので、出演者側でも決められた時間内にまとめる技術も必要かもしれない。今年も期待している。</p>
	高瀬委員	<p>中学生の海外派遣について、今年度の派遣生は何年生であるか。また、前回の派遣にも参加した生徒はいるか。</p>
	学校教育部長	<p>派遣生は、1年生と2年生の希望者から選考している。1年おきに海外派遣を実施するので、前回の派遣経験者はいない。</p>
	柿沼委員	<p>今回は飛行機が欠航となったり、自分たちでやらなければならないことが発生して大変だったと思う。生徒を預かっているということを考えると、個人の旅行ではないので、添乗員を全行程つけて対応していった方が良いのではないかと思う。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 平成31年度当初教職員人事異動の方針(案)</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>行先のマニラ空港が閉鎖になり、羽田空港でその後の対応について考えた。その時は添乗員が付いていたので、相談して臨機応変に対応していただいた。移動した成田空港ではホテルに添乗員も泊まり成田空港を出るまで付き添ってくれた。添乗員がいなかったのは、日本に帰る前日のバギオからマニラへの移動と、最終日のマニラから羽田に帰ってくる日である。マニラのホテルを出るまでは添乗員の代わりに案内人が付いてくれた。最終的に、マニラ空港での手続きだけは添乗員がいなかったのが心配なところがあった。委員の意見のとおり、全行程で添乗員がいることは安心であるので、今後予算確保も含め努力していきたい。</p>
	<p>教育長</p>	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	<p>教育長</p>	<p>協議事項1について学校教育課長から説明を求めた。</p>
	<p>学校教育課長</p>	<p>基本方針としては、羽生市教育の一層の充実発展を図るため、埼玉県教育委員会の「平成31年度当初教職員人事異動の方針」及び「平成31年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」を踏まえながら他市町村教育委員会と密接な連携のもとに、円滑・適正な人事を行い、市内学校教育の充実発展を推進するものである。その他、各学校の教職員組織の充実、均衡化、特色ある学校づくり、適材を適時に適所に配置する、広範かつ適正な異動の推進、再任用職員の適切な配置を掲げている。退職については、教職員の年齢構成不均衡を解消するため、勸奨退職制度の活用を図る。転任・転補については、教職員の意向を把握し、教職員の特性・能力、勤務実績及び勤務経験、各学校の教職員構成など考慮し適材を適時に適所に配置する。</p>
	<p>教育長</p>	<p>協議事項1について質問・意見を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	平野委員	平成 30 年度の人事異動の方針とで変わったことはあるか。
	学校教育課長	埼玉県教育委員会の人事異動方針が昨年度と変更がないため、それを受け、羽生市教育委員会の人事異動方針も特に変更したところはない。
	教育長	協議事項 1 については、よろしいか。 異議なしの声
	教育長	協議事項 1 は、承認された旨宣した。
	教育長	本日の会議の日程はこれで終了である。 ここで、9 月 30 日を持って任期満了となる春山委員よりご挨拶をいただきます。
	春山委員	教育委員の任期中は、教育総務課、学校教育課、学校給食センター、生涯学習課、スポーツ振興課、図書館・郷土資料館、どの課にもお世話になりました。事務局職員の皆様が献身的に職務に専念する姿をみて、いつも頭が下がる思いでいっぱいでした。そして、秋本教育長のリーダーシップのもと、羽生市の教育も着実に成果をあげていると確信しています。今、新しい時代での課題が山積し、一年が経つスピードが本当に早く感じています。こういう時だからこそ、志を高く持っていきたいと思います。国連が掲げている誰も取り残さない社会の実現を目指し、羽生の子もたちが輝かしい未来を作れますように、そして、全ての市民が毎日生き生きと生活できるような羽生市になって欲しいと願っています。生涯学び続けることこそが大事なことだと思っています。これからも子ども達のためにできることをさせていただこうと思っています。4 年間ありがとうございました。

会議事件名	て ん 末	
	教育長	<p>春山委員からは家庭教育の重要性など大変貴重なご意見をいただき、羽生の教育の発展に多大なるご尽力をいただいたこと、心から感謝申し上げます。これからも引き続き、お力添え賜りますようお願い申し上げます。4年間、本当にありがとうございました。</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>10月1日 午後1時30分より、臨時教育委員会を教育委員室にて開催する。</p> <p>10月定例教育委員会は、10月17日 午後1時30分より、教育委員室にて開催する。</p>
	教育長	<p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>